

- 問1 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになっていきます。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。
 2. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。
 3. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。
 4. 日本企業の進出が減少したことで、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。
- 問2 アジア太平洋経済協力（APEC）の目的や特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 太平洋を囲む地域の経済的な結びつきを強め、地域の発展や安定を目指して協力する。
 2. 南米諸国の資源輸出を管理し、欧米諸国に対抗するための経済同盟として機能している。
 3. 東南アジア諸国の経済発展と政治的な安定を目的とした、地域密着型の協力組織である。
 4. 加盟国間での共通通貨の導入や、国境を越えた政治的な統合を最終的な目標としている。
- 問3 米の生産量上位10か国を見ると、中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムなどが並んでおり、アジア諸国がその大部分を占めています。これらの国々における米の生産と消費の実態について、正しく述べたものを選びなさい。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 労働力不足を補うために徹底した機械化が進んでおり、広大な土地を利用して企業的な経営による大規模栽培が行われている。
 2. 乾燥した気候を克服するため、大規模なスプリンクラーを用いた灌漑農業により、小麦から米への転換が進んでいる。
 3. 外貨獲得を主な目的として、生産量のほとんどをヨーロッパや北アメリカへ輸出する商業的な農業が行われている。
 4. 人口が密集し米を主食とする地域であり、生産された米の多くが生産国内で消費される自給的な農業が行われている。
- 問4 日本も加盟しているAPEC（アジア太平洋経済協力会議）について、その特徴や目的を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. 世界の貿易に関するルールを定め、貿易摩擦が生じた際に解決を仲裁する。
 2. 太平洋を囲む多様な地域が協力し、経済的な結びつきや自由な貿易を促進する。
 3. 加盟国間で関税を完全に撤廃し、ヨーロッパのような一つの大きな経済圏を作る。
 4. 東南アジア諸国の経済発展と地域の安定、平和の維持を主な目的としている。
- 問5 東南アジアのタイでは、首都などの大都市周辺に自動車工場が数多く進出しており、生産された自動車は周辺のアジア諸国へ広く輸出されています。この地域において、国境を越えた自動車の取引が盛んに行われている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国の企業による直接投資が中心となっており、EU市場へ向けた輸出拠点となっているため
 2. タイ国内で自動車の原料となる鉄鉱石が豊富に産出され、安価に部品を製造できる環境にあるため
 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）の加盟国間で、輸出入にかかる関税が原則として撤廃されているため
 4. タイ国内の自動車保有台数が人口千人あたり77.7台と、欧米諸国と比較しても非常に高い水準にあるため
- 問6 西アジアの産油国で見られる、原油の輸出に依存した経済からの脱却を目指す動きについて、その具体的な手法と目的を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 先進国からの技術導入を拒否し、自国の伝統文化を守るために工業化そのものを抑制する。
 2. 周辺諸国との関税を撤廃し、食料自給率を100%にするために砂漠のすべてを農地に作り替える。
 3. 石油輸出国機構（OPEC）から脱退し、原油の輸出価格を自国だけで自由に決定できる体制を整える。
 4. 観光資源の開発や中継貿易の拠点化を進めることで、石油資源が枯渇した後も持続可能な経済基盤を構築する。
- 問7 1980年代後半には輸出総額の約15%を繊維品が占めていたある国では、2010年代後半になると機械類が輸出総額の4割以上を占めるようになり、輸出総額自体も数十倍へと劇的に増加しました。このような輸出構造の変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 伝統的な手工業を保護するために、外国からの機械類の輸入を厳しく制限し、自国独自の繊維産業を再興させた。
 2. 国内の労働力不足に対応するため、産業の中心を第二次産業から第一次産業へと意図的に回帰させた。
 3. 国内の資源消費を抑えるため、農産物や鉱産資源の輸出を大幅に増やし、加工貿易から資源輸出国へと転換した。
 4. 安価な労働力を背景とした軽工業中心の構造から、技術力の向上に伴い、電気機器などの高度な工業製品を生産する構造へと転換した。
- 問8 アラビア半島を中心とする西アジアの国々では、石油の輸出によって得られた豊富な資金をどのような分野に投資して、国づくりの近代化を進めていますか。その特徴として適切なものを選択してください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 寒冷な気候を克服するための大規模な温室栽培施設と、重工業地帯の整備
 2. 天然ゴムや木材などの一次産品を加工するための大規模な木材コンビナートの建設
 3. 海水を真水に変える海水淡水化施設の建設や、砂漠での近代的な都市開発
 4. 情報技術（IT）産業を振興するためのコールセンターの全国的な設置
- 問9 近年のインドでは、世帯収入の向上に伴い社会構造が大きく変化しています。2006年から2015年の統計において、世帯数の約6割以上を占めるまでに急増し、インドが「巨大な消費市場」と呼ばれる原動力となった階層の名称として、正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 中間層・富裕層
 2. 知識層・封建層
 3. 都市貧困層・熟練労働者
 4. 公務員・伝統的農民
- 問10 インドの都市コルカタで見られる雨温図のデータの特徴について、適切に説明しているものはどれですか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 年間を通じて平均気温が非常に低く、降雪が多い。
 2. 年間を通じて降水量が非常に少なく、気温の年変化もほとんどない。
 3. 年間を通じて気温が高く、6月から9月頃にかけて降水量が集中する雨季がある。
 4. 夏にあたる時期に降水量が著しく減少し、乾燥する気候である。
- 問11 インドに進出している外資系のファストフード店では、他の国で一般的に使われる牛肉や豚肉の代わりに、鶏肉や魚肉、あるいは野菜を用いたメニューが数多く提供されています。このようなメニュー構成となっている理由として、インドの宗教人口の統計的背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 人口の大多数を占める仏教徒が殺生を禁じているため、肉類全般の提供が法律で厳しく制限されており、魚肉が推奨されているため。
 2. 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒が牛を神聖視して牛肉を避けるとともに、人口の約14%を占めるイスラム教徒が豚肉を禁忌としているため。
 3. ヒンドゥー教徒が不浄なものとして豚肉を避け、イスラム教徒が神聖なものとして牛肉を避けるという、両者の教えが共通しているため。
 4. キリスト教徒が人口の約15%を占めており、特定の曜日に肉を食べてはいけないという教えが社会全体の食習慣に強く影響しているため。